

安全衛生委員会 の 安全衛生セミナー 議事録

尼崎安全センターに加入する労働組合は、ほとんど、毎月安全衛生委員会で会社側と職場の安全衛生問題を議論しています。ですから、議事録を持ちより、お互いの検討課題について交流すると、自分たちのしていること、これからすべきことが良く見えます。(会社側は会社側で同じことをやっていると思いま

安全パトロールではどの職場でも鋭い指摘があります。空のドラム缶が膨らんできているとか、非常灯ランプで交換時期に来ているものがあるとか、脚立が老朽化でぐらついているとか。それに写真が付いているものは、本当にわかりやすい。

その他、遠隔地出張での慣れないレンタカーを借りての運転事故や、過重時間(四五時間以上)労働者の検診の徹底、インフルエンザ感染対策、わかりやすい職場内用化学物質と作業リストの作成、社内での近隣

四月二〇日のJAM木村化工機支部での交流会では、各職場とも事故の増えている自転車通勤が問題になっているようです。兵庫県では一〇月一日から自転車損賠保険への加入が義務づけられました。自転車利用者の保険加入の確認、公共交通機関利用への転換など話し合われました。事故原因の究明や道路事情の改善(凹凸とか見通しとか滑りやすくないうかとか)も大切です。

鋭い指摘が

身の安全を守る

[発行] 尼崎労働者安全衛生センター
[連絡先] 〒660-0802
尼崎市長洲中通1-7-6
TEL・FAX 06-4950-6653

6月27日(土)正午～
尼崎市中小企業センター
(尼崎市昭和通2-6-68)
クボタ・ショックから10年
「アスベスト被害の救済
と根絶を目指す尼崎集会」
に参加しましょう!

それぞれ交流会のテーマとなりそうです。

出欠者はつきりしている議事録とそうでない議事録があります。安全はすべてに優先すると考え、欠席もわかるようにした方が良いと思います。議事録は職場の誰にでも見やすくなっているでしょうか。そうする上によって、職場の安全衛生の水準は更に高まるはずです。

私たちの安全衛生委員会をめぐる交流は、期せずして今の日本の職

場のあり様を映し出しています。報告が多ければ多いほど実態に迫り、対策にも迫力が出てきます。

最後に考えさせられた公務災害報告。「ケースワーカーとして受給者宅を訪問した時に、ペットボトルで殴られたり、ナイフで脅されたことが原因」で心因反応・うつ状態発症。休業二八六日…

容器を洗浄中
作業員が死亡
尼崎の工場

16日前2時ごろ、
尼崎市扶桑町1の日鉄住金機工の工場から

と119番があつた。
工場内で同社員の寺岡義晴さん(51)伊丹市池尻6が倒れてお

が、間もなく死亡した。
尼崎東署によると、同社はガス容器の製造

場内に容器(長さ4m、直徑30cm)の洗浄作業

を一人でていた。15日午後9時半ごろから仕事に就き、16日前

203号公判は7月2日(水)午後3時神戸地裁
203号公判は7月2日(水)午後3時神戸地裁

が、その後、姿が見えないため様子を見に行

つたところ、洗浄液の排出場所で倒れていた

という。

川崎重工アスベスト損害裁判が 本格化

四月二二日神戸地裁でのアスベスト損害裁判の後、原告・傍聴者で川崎重工神戸工場の門前に行きました。そして大勢でビラまきをして訴えました。ほぼ三〇分で五〇〇枚のビラが無くなりました。

川崎重工は県内で一一〇名を超すアスベスト被害者を出しています。

これに加えて下請労働者も含めて、会社は人生を無茶苦茶にされてしまった労働者とその家族・遺族に対してどれだけ真剣に向き合ってきたのでしょうか?金さえ払えば(これも小額ですが)文句ないだらうといふ会社の体質が問われています。

吉田さんは昨年一月に亡くなりました。七二歳でした。



ビラを撒く患者会や
安全センターの関係者

